資料７

肝疾患コーディネーターの養成・活用について

平成２８年３月１４日
広島県健康福祉局薬務課

１　事業の目的

広島県では，肝がんによる死亡率が全国的にも上位に位置しており（平成 25 年の 75 歳未満年齢調整死亡率　全国 6.0，広島県 7.9；全国 6 位），肝がんによる死亡率を減少させるためには，キャリアの早期発見及び適切な治療を提供できる体制の更なる整備が必要となっている。

また，平成 25 年度の職域における肝炎ウイルス検査の実施率は，30.0%に留まっており，職域における肝炎ウイルス検査の実施率の向上に向けての対策も一層重要となっている。

そこで，肝炎ウイルス検査の受検勧奨及び陽性者に対する医療機関への受診勧奨を一層強化するため，県・市町の保健師や医療機関の看護師，企業の健康管理担当者等を対象に，肝炎に関する専門的知識を持つ「ひろしま肝疾患コーディネーター」を養成する。

また，平成 23 年度以降に肝疾患コーディネーターの認定を受けた者に対しても，最新の知見等について継続的な研修を行い，資質の向上を図る。

２　事業の概要

（１）養成対象者及び養成人数

ア　対象者；県及び市町の保健師，医療機関の医師，看護師，薬剤師等，薬局の薬剤師，企業（健康保険組合含む）及び検診機関の健康管理担当者等

イ　養成人数；150 名程度

（２）講座の種類及び会場

ア　養成講座；県内 2 会場（広島，福山），各 2 日（広島：2 日×1 回，福山 2 日×1 回）

イ　継続研修；県内 2 会場（広島，福山），各 1 日（広島：1 日×2 回，福山 1 日×1 回）

（３）内容

ア　養成講座

ウイルス性肝炎に関する知識，肝疾患患者に対する相談対応，県における肝疾患対策（治療費助成制度等），確認試験

イ　継続研修

ウイルス性肝炎の治療に関する最新の知見，肝疾患患者に対する相談対応，県における肝疾患対策

【参考】

平成 27 年度実績

ア　養成講座

会　場	広島会場	福山会場
開催日	H27.9.6 H27.9.13	H27.10.18 H27.10.25
受講者数	128	65

イ　継続研修

会　場	広島会場		福山会場
開催日	H27.10.31	H27.11.7	H27.9.26
受講者数	87	66	53

３　ひろしま肝疾患コーディネーターの養成状況

（１）所属機関別養成状況　（人）

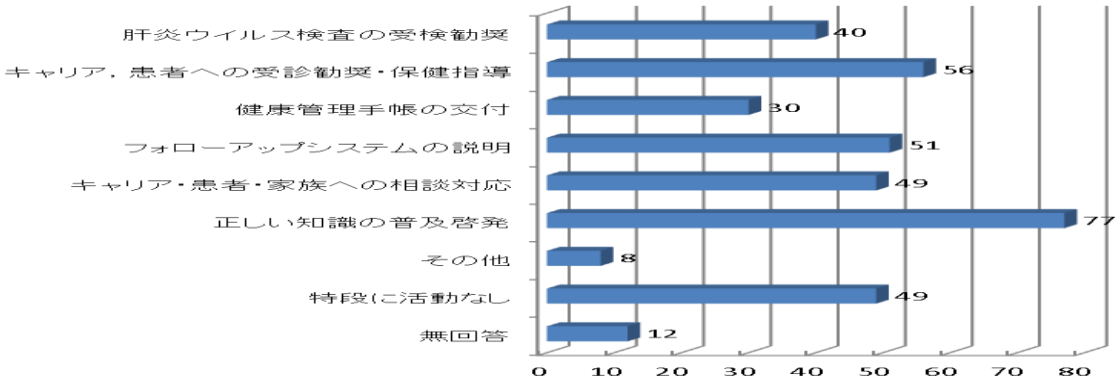
	県	市町	医療機関	企業・健保組合	検診機関	その他	合計
H23年度	8	20	68	6	1	2	105
H24年度	4	14	114	12	6	11	161
H25年度	7	21	89	6	8	1	132
H26年度	5	36	158	10	2	5	216
H27年度	4	20	151	1	8	9	193
合計	28	111	580	35	25	28	807

（２）所属機関別養成率（県，市町，専門医療機関　H27.1.1 現在）

県保健所 （支所）	市町	ネットワーク 専門医療機関	ネットワーク以外の 専門医療機関
7/7 （100%）	22/23 （95.6%）	32/34 （94.1%）	37/102 （36.2%）

4　活動状況

継続研修参加者（206 名）に対し，アンケートを実施（回収者 194 名（回収率 94.1%））。133 名（68.6%）がコーディネーターとして活動実績があり，その内容は次のとおり。



5　今後の課題

内容	平成 27 年度の取組	課題	平成 28 年度の取組（案）
肝疾患コーディネーターに関する周知	・県ホームページにおける県民への紹介（役割，所属機関の掲載など） ・健康管理手帳への掲載 ・Team がん対策ひろしま登録企業に対するアンケート調査時に周知	・県民への周知が十分でない ・職域での周知及び活用が十分でない	・各種広報媒体による県民への周知（肝炎に関する身近な相談窓口） ・職域（医療保険者）での肝疾患コーディネーター養成の強化
肝疾患コーディネーターへの活動支援	・肝疾患コーディネーター用の県ホームページサイトの作成（指導者テキスト，継続研修内容の掲載） ・電子メールによる拠点病院医療従事者研修会等各種研修会の迅速な情報提供 ・肝疾患コーディネーターに対するアンケート調査	・医療費助成制度の改正が相次いでおり，制度の変更等について周知が十分でない	・継続研修の内容を充実し，参加者の増加を図る

6　平成 28 年度スケジュール（案）

H28 年度	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月
養成講座	募集要項作成	受講募集 広島会場 福山会場	認定証交付	
継続研修		募集要項作成 受講募集	広島会場（2 回） 福山会場	修了証交付